

# オンライン会議サービス用チェックリスト回答

Amazon Chime

Amazon Web Services, Inc.

(お問い合わせ窓口: アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社)

レビュー終了日: 2020年7月29日

本回答ではYes/No欄が空欄となっております。

これは、事業者様から

「この種のご質問は、読み手の前提や期待によって解釈が変わってしまうため、認識の齟齬を避けるために記述式の回答のみとさせて頂いております。

AWSの回答内容をご確認いただいたうえで、お客様の立場で要件を満たしていると判断できました場合には、Yes回答とみなしてください。」

とのご要望をいただいたことによります。

以上文責：国立情報学研究所クラウド支援室

Disclaimer. This disclaimer applies to this document and all other documents, information, data, and responses (written or verbal) provided by Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates ("AWS") in connection with the Request for Information titled "Service Checklist" issued by National Institute of Informatics (collectively, this "Response").

1. Informational Response. This Response is (a) informational only and provided solely for assessment by National Institute of Informatics and for discussion purposes, (b) non-binding and not an offer to contract that can be accepted by any party, and (c) provided "as is" with no representations or warranties whatsoever, and may change at any time due to a variety of factors, such as changes to your requirements or changes to AWS's services. Submission of this Response does not obligate either party to enter into a binding agreement for AWS to provide its services to National Institute of Informatics.

2. Agreement; Confidentiality. All use of AWS's services will be governed by the AWS Customer Agreement available at <http://aws.amazon.com/agreement/> (or other definitive written agreement as may be agreed between the parties governing the use of AWS's services) (as applicable, the "Agreement"). Pricing information (if any) provided in this Response is subject to change in accordance with the Agreement. Nothing in this Response will modify or supplement the terms of the Agreement or any Nondisclosure Agreement ("NDA") between AWS and National Institute of Informatics. No part of this Response may be disclosed without AWS's prior written consent.

3. Submission Terms. On behalf of itself and its affiliates, AWS does not agree to and disclaims all terms, conditions, representations and warranties, whether express, implied, statutory or otherwise, purported to apply to this Response, whether set forth in a website, an online portal, or in another manner in the Request for Information.

チェック項目	項番	詳細チェック項目	記入要領	回答方法	Yes / No	記述回答	備考
商品 / サービスの概要	A 1	タイトル (提案サービス名)	提案の対象となる製品/サービス名を記述回答欄に記入してください。備考欄に提案サービスのURLを記入してください。	記述	-	Amazon Chime	<a href="https://aws.amazon.com/jp/chime/">https://aws.amazon.com/jp/chime/</a>
	A 2	提案者 (ベンダー名あるいは代理店名)	提案者を記述回答欄に記入してください。代理店によるサービス提案の場合はその旨を明記してください。備考欄に提案者に関するURLを記入してください。	記述	-	Amazon Web Services, Inc. (お問い合わせ窓口: アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社)	<a href="https://aws.amazon.com/jp/">https://aws.amazon.com/jp/</a>
	A 3	製品概要	製品・サービスの特長、アカデミック向け提供条件などを記述回答欄に記入してください。	記述	-	<p>Amazon Chime は、単一のアプリケーションを使用して、組織の内外で会議、チャット、および業務上の電話を行うことを可能にする通信サービスです。開発者は、Amazon Chime を強化している同じ通信インフラストラクチャとサービスを使用することができます。さらに、Amazon Chime SDK を使って、アプリケーションに音声通話、動画通話、画面共有機能を直接追加できます。</p> <p>Amazon Chime Voice Connector は、企業がテレフォニーワークロードを AWS に移行できるようにするサービスです。IT プロフェッショナルは Voice Connector を使用して、オンプレミスまたはクラウドベースの電話システムから低コストの SIP トランキングを実現できます。着信通話、発信通話、またはそのどちらもサポートします。Voice Connector を使うと、開発者は Amazon Chime SDK を使用して独自のアプリケーションで PSTN 通話を構築したり、通話分析や機械学習にオーディオをストリーミングしたりすることもできます。</p>	<a href="https://aws.amazon.com/jp/chime/">https://aws.amazon.com/jp/chime/</a>

チェック項目	項番	詳細チェック項目	記入要領	回答方法	Yes / No	記述回答	備考
契約申込み	C 3	トライアルの有無	サービスのトライアル利用は可能か「Yes/No」欄のプルダウンメニューから選択してください。「Yes」の場合、条件・申し込み方法などを記述回答欄に明記してください。	Yes / No (記述あり)		<p>クレジットカードおよび AWS アカウントなしで、Amazon Chime を初めてご利用いただく場合、30 日間無料で Amazon Chime Pro をお試しください。30 日経過後は、Amazon Chime Basic 版を引き続き無料でお使いいただけます (制限なし)。また、料金をお支払いいただくことで、Amazon Chime Pro 版もお使いいただけます。</p> <p>Basic 機能は、無期限、無料で使える機能です。これらの機能にはチャット、Chime 間での音声通話、会議への出席が含まれます。無料のアカウントに登録してアカウントを Amazon Chime Pro にアップグレードするか、Business Calling などのその他の従量課金制の機能を追加することができます</p>	<p><a href="https://aws.amazon.com/jp/chime/pricing/">https://aws.amazon.com/jp/chime/pricing/</a></p> <p>オファー: AWS は、2020 年 3 月 4 日から 2020 年 9 月 30 日までの期間中に AWS アカウントから初めて Amazon Chime を使用するすべてのお客様に、当該期間中のオンライン会議およびビデオ会議用のすべての Amazon Chime Pro 機能を無料で提供します。これには、Amazon Chime Voice Connector、call-me、会議ダイヤルインなどの PSTN サービスまたは PSTN サービスに関連する料金は含まれません。すでに Amazon Chime を使用しているお客様は AWS アカウントマネージャーに連絡して、この期間中に Amazon Chime の使用に対するクレジットの資格があるかどうかを確認することもできます。</p>
	C 5	問合せ・申し込み先	申し込み先担当部署名、担当者名、連絡先電話番号、メールアドレスなどを記述回答欄に記入してください。指定代理店がある場合は代理店の連絡先を明記してください。	記述	-	<p>アカウントの開設やご利用の開始は、Web ページからセルフサービスで開始可能です。</p> <p>各種お問い合わせや手続きは Web ページから行えます。 <a href="https://aws.amazon.com/jp/contact-us/">https://aws.amazon.com/jp/contact-us/</a></p> <p>ご検討時には、公共機関様担当チームまでご連絡ください。 <a href="mailto:aws-jp-pubsec-external@amazon.co.jp">aws-jp-pubsec-external@amazon.co.jp</a></p>	<p><a href="https://aws.amazon.com/jp/chime/">https://aws.amazon.com/jp/chime/</a></p>

チェック項目	項番	詳細チェック項目	記入要領	回答方法	Yes / No	記述回答	備考
契約申込み	C 7	支払方法	支払方法は請求書払いに対応しているか 「Yes/No」欄のプルダウンメニューから選択してください。 また、課金額や使用資源量に応じて支払方法に制約や変更がある場合は、記述回答欄に明記してください。	Yes / No (記述あり)		<p>AWSアカウントでのお支払方法の基本は、ドル建て、クレジットカードでのお支払です。その他のお支払方式や条件をご希望の場合は、下記窓口までご相談ください。パートナーによる契約等の方法をご要望に合わせて提案いたします。</p> <p>各種お問い合わせや手続きはWebページから行えます。 <a href="https://aws.amazon.com/jp/contact-us/">https://aws.amazon.com/jp/contact-us/</a></p> <p>ご検討時には、公共機関様担当チームまでご連絡ください。 <a href="mailto:aws-jp-pubsec-external@amazon.co.jp">aws-jp-pubsec-external@amazon.co.jp</a></p>	<a href="https://aws.amazon.com/jp/aws-jp-faq/prospects/#payment-otherway">https://aws.amazon.com/jp/aws-jp-faq/prospects/#payment-otherway</a>
	C 11	ライセンス体系	サイトライセンスや、構成員数やキャンパス数によって価格が決まるサービスモデルの場合は、その旨を記述回答欄に明記してください。あわせて、算定対象となる構成員の範囲やキャンパスの定義（同一市内であれば1キャンパスとしてカウントなど）も明記してください。また、同一大学が購入した複数のライセンスを統合することは可能かも明記してください。	記述	-	<p>Amazon Chime は従量制料金のサービスで、前払い、長期契約は不要です。従量制料金なので、使用する日に使用する機能に対してだけ支払いをするため、費用の使い過ぎを心配する必要はありません。</p>	<a href="https://aws.amazon.com/jp/chime/pricing/">https://aws.amazon.com/jp/chime/pricing/</a>

チェック項目	項番	詳細チェック項目	記入要領	回答方法	Yes / No	記述回答	備考
認証関連	D 1	SAML認証連携 (Shibboleth 利用可否)	SAMLによるユーザ認証連携は可能か 「Yes/No」欄のプルダウンメニューから選択してください。 「Yes」の場合、Shibbolethによるユーザ認証が可能であれば明記してください。 「No」の場合、SAML以外でユーザ認証連携可能なものがあれば明記してください。	Yes / No (記述あり)		Okta SSO または Microsoft Active Directory のいずれかを使用している Amazon Chime ユーザーを管理するため、組織のディレクトリを使用するように Amazon Chime を設定できます。 エンタープライズアカウントを持っている場合、Okta SSO に接続して認証を行い、ユーザーにアクセス許可を割り当てることができます。	<a href="https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/chime/latest/ag/okta_sso.html">https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/chime/latest/ag/okta_sso.html</a>
	D 3	多要素認証	多要素認証に対応しているか「Yes/No」欄のプルダウンメニューから選択してください。 「Yes」の場合、本人確認のためにどのような要素を用いているかを記述回答欄に明記してください。	Yes / No (記述あり)		Okta SSO または Microsoft Active Directory のいずれかを使用している Amazon Chime ユーザーを管理するため、組織のディレクトリを使用するように Amazon Chime を設定できます。	<a href="https://aws.amazon.com/jp/chime/faq/">https://aws.amazon.com/jp/chime/faq/</a>  <a href="https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/chime/latest/ag/active_directory.html">https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/chime/latest/ag/active_directory.html</a> Active Directory を使用すると、以下の利点があります。 ・ Amazon Chime ユーザーは Active Directory 認証情報でサインインできます。 ・管理者は、パスワードのローテーション、パスワードの複雑さのルール、多要素認証など、認証情報のセキュリティ機能を選択して追加できます。 ・ Active Directory でユーザーのアカウントが無効になると、対応する Amazon Chime アカウントが自動的に無効になります。 ・ Active Directory グループを指定して Pro アクセス許可を付与できる。 ・ Basic または Pro アクセス許可を付与する複数のグループを設定できます。 ・ Amazon Chime にサインインするには、ユーザーがいずれかのグループのメンバーであることが必要です。 ・ どちらのグループのユーザーにも Pro ライセンスを付与できます。

チェック項目	項番	詳細チェック項目	記入要領	回答方法	Yes / No	記述回答	備考
信頼性	E 5	サービス停止の通知（計画停止）	<p>計画停止を実施する場合の通知手順が定められているか</p> <p>「Yes/No」欄のプルダウンメニューから選択してください。ここで、計画停止は月次等の定期的なメンテナンスに加え、ユーザへの事前通知を行った上でサービス停止も含まれます。</p> <p>「Yes」の場合、その通知手順（ウェブページに掲載（可能ならばURLを明記）、電子メール、契約時に書面で交付など）を記述回答欄に明記してください。</p>	Yes / No（記述あり）		<p>計画停止の手順に関して、AWS SOC 1 Type IIレポートにおいて、AWS環境における変更管理についての管理体制に関する概要に関する情報を提供しています。またISO 27001基準の付録A、ドメイン12.5も参照してください。AWSは、ISO 27001認定基準への対応を確認する独立監査人から、検証および認定を受けています。</p> <p>AWSでは、定期的な保守やシステムのパッチ適用を実行するために、システムをオフラインにする必要があります。定期的な保守においては、通常、AWSの保守およびシステムのパッチ適用はお客様に影響がありません。</p> <p>お客様がご利用中のインスタンスやリソースについての個別の保守のため停止が発生する際には、該当するお客様に事前にメール等で通知いたします。</p> <p>緊急の保守を除く多くの場合は、一定の期間を設け、その間であればお客様が停止タイミングを選択できます。お客様がご利用中のインスタンスやリソースについての保守情報は、APIやAWSマネジメントコンソールでも取得できます。</p>	<p>リスクとコンプライアンス  <a href="https://d0.awsstatic.com/whitepapers/compliance/JP_Whitepapers/AWS_Risk_and_Compliance_Whitepaper_JP.pdf">https://d0.awsstatic.com/whitepapers/compliance/JP_Whitepapers/AWS_Risk_and_Compliance_Whitepaper_JP.pdf</a></p> <p>セキュリティプロセスの概要  <a href="https://d0.awsstatic.com/International/ja_JP/Whitepapers/AWS%20Security%20Whitepaper.pdf">https://d0.awsstatic.com/International/ja_JP/Whitepapers/AWS%20Security%20Whitepaper.pdf</a></p> <p>Amazon Chime Service Level Agreement  <a href="https://aws.amazon.com/jp/chime/sla/">https://aws.amazon.com/jp/chime/sla/</a></p>



チェック項目	項番	詳細チェック項目	記入要領	回答方法	Yes / No	記述回答	備考
サポート関連	F 1	サポート窓口	サポートの窓口はどのようなものを用意しているか記述回答欄に明記してください。(メール、電話、チャット等)。サポートプラン(有償・無償など)毎に異なる場合はそれぞれについて明記してください。	記述	-	<p>■AWSサポートについては下記のWebページをご参照ください。  <a href="https://aws.amazon.com/jp/premiumsupport/">https://aws.amazon.com/jp/premiumsupport/</a>  <a href="https://aws.amazon.com/jp/premiumsupport/plans/">https://aws.amazon.com/jp/premiumsupport/plans/</a></p> <p>■サポートのプラン            開発者: 営業時間内でのクラウドサポートアソシエーツへのメールでの問い合わせ            ビジネス: クラウドサポートエンジニアへの年中無休の電話、メールでの問い合わせ、チャット利用            エンタープライズ: クラウドサポートエンジニアへの年中無休の電話、メールでの問い合わせ、チャット利用、TAM(Technical Account Manager)</p>	<a href="https://aws.amazon.com/jp/premiumsupport/plans/">https://aws.amazon.com/jp/premiumsupport/plans/</a>
	F 2	サポート受付時間帯	サポートの受付時間帯を記述回答欄に明記してください。サポートの内容毎に時間帯が異なる場合はそれぞれについて明記してください。サポートプラン(有償・無償など)毎に異なる場合もそれぞれについて明記してください。	記述	-	<p>AWSビジネスサポート、エンタープライズサポートを選択いただければ、24時間・365日障害の受付対応を行っています。  <a href="https://aws.amazon.com/jp/premiumsupport/">https://aws.amazon.com/jp/premiumsupport/</a>  <a href="https://aws.amazon.com/jp/premiumsupport/plans/">https://aws.amazon.com/jp/premiumsupport/plans/</a></p> <p>■技術サポート            開発者:お客様の国における午前 8:00~午後 6:00(祝日と週末を除く)            ビジネス: 年中無休(24/365)            エンタープライズ: 年中無休(24/365)</p>	<a href="https://aws.amazon.com/jp/premiumsupport/plans/">https://aws.amazon.com/jp/premiumsupport/plans/</a>

チェック項目	項番	詳細チェック項目	記入要領	回答方法	Yes / No	記述回答	備考
ネットワーク・通信機能	G 4	通信の暗号化可否	端末からサーバまでの通信の暗号化がサービスとして提供されているか「Yes/No」欄のプルダウンメニューから選択してください。「Yes」の場合、暗号化の方式（SSL/TLS、その他）を記述回答欄に明記してください。	Yes / No （記述あり）		暗号化: メッセージ、音声、ビデオ、コンテンツは AES 256 ビット暗号化を用いて暗号化されます。	<a href="https://aws.amazon.com/jp/chime/features/">https://aws.amazon.com/jp/chime/features/</a>
	G 10	E2EE可否	端末間の通信のエンドツーエンド暗号化（E2EE）がサービスとして提供されているか「Yes/No」欄のプルダウンメニューから選択してください。「Yes」の場合、E2EE使用時に一部の機能が使えない等の制限がある場合は記述回答欄に明記してください。	Yes / No （記述あり）		Amazon Chimeの内部通信チャネルは、転送中に暗号化され、TLS 1.2 がサポートされます。	<a href="https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/chime/latest/ag/compliance.html">https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/chime/latest/ag/compliance.html</a>  ※ 公衆電話回線（PSTN）と Amazon Chime のキャリアパートナー間を流れるトラフィックは含まれません。公衆電話回線（PSTN）は暗号化されないネットワークであるため、この回線用のエンドツーエンドの暗号化メカニズムはありません。

チェック項目	項番	詳細チェック項目	記入要領	回答方法	Yes / No	記述回答	備考
管理機能	H 11	利用統計	サービスへのアクセス数やリソース（ネットワーク帯域等）の利用率など、利用統計を取得する機能は提供されるか「Yes/No」欄のプルダウンメニューから選択してください。「Yes」の場合、どのような統計が取得可能か記述回答欄に明記して下さい。	Yes / No (記述あり)		十分な知識に基づく意思決定し、組織の生産性を向上させるために、使用状況とフィードバックのデータには、コンソールから直接アクセスできます。	<a href="https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/chime/latest/ag/view-reports.html">https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/chime/latest/ag/view-reports.html</a>
ソフトウェア環境	I 1	利用可能OS	アクセス可能なOSやブラウザを列挙するか一覧できるウェブサイト等を示して下さい。また、OSのサポートを一括して行う問い合わせ窓口がある場合は明記して下さい。	記述	-	Amazon Chime は以下のオペレーティングシステムで利用できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Microsoft Windows 7、Windows 8.1、Windows 10</li> <li>・ Apple Mac OS X (10.11 以降)</li> <li>・ Apple iOS (10.0 以降)</li> <li>・ Android (5.0 以降)</li> </ul> これらのオペレーティングシステムのほか、Linux や ChromeOs などのその他のオペレーティングシステムのユーザーは、サポート対象ブラウザで Amazon Chime ウェブアプリケーションを利用できます。	<a href="https://aws.amazon.com/jp/chime/faq/">https://aws.amazon.com/jp/chime/faq/</a> <a href="https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/chime/latest/ug/chime-requirements.html">https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/chime/latest/ug/chime-requirements.html</a>
データセンター	K 7	データセンターの設置地域	データセンターが設置されている地域やゾーンを公表しているか「Yes/No」欄のプルダウンメニューから選択してください。「Yes」の場合、地域名やゾーン数を記述回答欄に明記してください。契約後のみ開示される場合はその旨を記入してください。また国内にデータセンターが設置されている場合(あるいは設置されていることを公表可能な場合)は、その旨を明記してください。	Yes / No (記述あり)		IT 管理者は、Amazon Chime コンソールで組織の Amazon Chime ミーティングリージョンを選択します。  リージョン表 <a href="https://aws.amazon.com/jp/about-aws/global-infrastructure/regional-product-services/">https://aws.amazon.com/jp/about-aws/global-infrastructure/regional-product-services/</a>	チャットメッセージ、連絡先、カレンダー、会議の記録などのすべての Amazon Chime ユーザー情報は、Amazon Chime サービスがホストされているバージニア北部の AWS リージョンに保存されます。

チェック項目	項番	詳細チェック項目	記入要領	回答方法	Yes / No	記述回答	備考
セキュリティ	L 1	セキュリティポリシー	サービスの運用に関わるセキュリティポリシーをユーザに提示しているか「Yes/No」欄のプルダウンメニューから選択してください。「Yes」の場合、その方法（ウェブページに掲載、契約時に書面で交付など）を明記してください。	Yes / No (記述あり)		AWSのセキュリティの詳細については、AWSセキュリティセンターを参照してください。 <a href="https://aws.amazon.com/jp/security/">https://aws.amazon.com/jp/security/</a> 「AWSセキュリティプロセスの概要」ホワイトペーパーでは、AWSの全般的なセキュリティ統制とサービス固有のセキュリティについて説明しています。 <a href="https://d0.awsstatic.com/International/ja_JP/Whitepapers/AWS%20Security%20Whitepaper.pdf">https://d0.awsstatic.com/International/ja_JP/Whitepapers/AWS%20Security%20Whitepaper.pdf</a>	
	L 6	インシデント対応 (クラウド事業者管理のリソース)	クラウド事業者がサービスを提供するために用いるリソースにセキュリティインシデント（不正侵入、DoS攻撃、情報漏えいなど）が発生した場合の、事業者としての対応方法をユーザに提示しているか「Yes/No」欄のプルダウンメニューから選択してください。「Yes」の場合、ユーザが対応方法を確認する方法（ウェブページに掲載、契約時に書面交付など）を記述回答欄に明記してください。	Yes / No (記述あり)		AWS事故対応プログラム（事故の検出、調査、および対応）は、ISO27001基準に合わせて開発されています。AWS SOC 1 Type IIレポートには、AWSが実施している具体的な統制活動の詳細が記載されています。詳細については、「AWS Overview of Security Processes Whitepaper」( <a href="http://aws.amazon.com/security">http://aws.amazon.com/security</a> )を参照してください。お客様は第三者監査人が作成したレポートおよび認定書をリクエストすることができます。レポートと認定書のリクエストは、AWS営業担当までお問い合わせください。 お客様の対応手法については、AWSサポートやWebページに提供される情報をご利用ください。	<a href="https://d0.awsstatic.com/whitepapers/compliance/JP_Whitepapers/AWS_Answers_to_Key_Compliance_Questions_JP.pdf">https://d0.awsstatic.com/whitepapers/compliance/JP_Whitepapers/AWS_Answers_to_Key_Compliance_Questions_JP.pdf</a>

チェック項目	項番	詳細チェック項目	記入要領	回答方法	Yes / No	記述回答	備考
データ管理	M	4	ログ	ログ（ミーティングの予約・開催・参加等）を閲覧することはできるか「Yes/No」欄のプルダウンメニューから選択してください。「Yes」の場合、閲覧できるログの種類を明記してください。	Yes / No (記述あり)	十分な知識に基づく意思決定し、組織の生産性を向上させるために、使用状況とフィードバックのデータには、コンソールから直接アクセスできます。	<a href="https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/chime/latest/ag/view-reports.html">https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/chime/latest/ag/view-reports.html</a>
	M	6	ログの利用	所有権がクラウド事業者に帰属するログデータ（ミーティングの予約・開催・参加等のログ）について、契約大学に利用権（閲覧等）を認めることが、契約書や約款等に明記されているか「Yes/No」欄のプルダウンメニューから選択してください。	Yes / No	-	お客様のコンテンツの所有権はお客様が保持します。また、お客様のコンテンツを処理、保存、ホストする AWS のサービスはお客様が選択します。いかなる目的であっても、AWS はお客様の同意を得ることなく、お客様のコンテンツにアクセスしたり、それを使用したりすることはありません。マーケティングや広告のために、お客様のコンテンツを使用したり情報を抜き出したりすることはありません。  <a href="https://aws.amazon.com/jp/compliance/data-privacy-faq/">https://aws.amazon.com/jp/compliance/data-privacy-faq/</a>
	M	7	ログ閲覧可能期間の確認方法	ログ（ミーティングの予約・開催・参加等）の閲覧可能期間が定められているか「Yes/No」欄のプルダウンメニューから選択してください。「Yes」の場合、その期間とログの種類を述回答欄に明記してください。	Yes / No (記述あり)	The Report dashboard You can see up to 12 weeks of data such as the number of registered users, how many were active during the period, the number of meetings that were held, the percentage of positive meeting feedback responses and the number of chat messages posted.	<a href="https://answers.chime.aws/articles/474/amazon-chime-dashboard-report.html">https://answers.chime.aws/articles/474/amazon-chime-dashboard-report.html</a> [English]

チェック項目	項番	詳細チェック項目	記入要領	回答方法	Yes / No	記述回答	備考
契約条件	P	4 準拠法	係争時の準拠法は日本法か 「Yes/No」欄のプルダウンメニューから選択してください。 「No」の外国法を準拠法とする場合、国・州名を記述回答欄に記入してください。	Yes / No (記述あり)		「AWSカスタマーアグリーメント」をご参照ください。 <a href="http://aws.amazon.com/jp/agreement/">http://aws.amazon.com/jp/agreement/</a> 「紛争」に記載がございます。ただし、顧客依頼ベースで準拠法を日本法に、指定裁判所を東京地方裁判所に変更可能です。	
	P	5 管轄裁判所	指定管轄裁判所はあるか 「Yes/No」欄のプルダウンメニューから選択してください。 「Yes」の場合、管轄裁判所を記述回答欄に明記してください。	Yes / No (記述あり)		「AWSカスタマーアグリーメント」をご参照ください。 <a href="http://aws.amazon.com/jp/agreement/">http://aws.amazon.com/jp/agreement/</a> 「紛争」に記載がございます。ただし、顧客依頼ベースで準拠法を日本法に、指定裁判所を東京地方裁判所に変更可能です。  サービス利用者による提供される本サービス内容の利用に関連する、または AWS が販売もしくは配布する製品もしくはサービスに関連する紛争またはクレームは全て、裁判所ではなく拘束力のある仲裁により解決される。ただし、サービス利用者は、サービス利用者のクレームが適格要件を満たす場合に少額裁判所 (small claims court) にクレームを申し立てることができる。連邦仲裁法および連邦仲裁規範が本契約に適用される。仲裁には判事も陪審員もおらず、仲裁の裁定に対する裁判所の審査は限定される。しかし、仲裁人は裁判所と同様の損害賠償および救済 (差し止めによる救済、宣言的救済または法定損害賠償を含む) を個別事案ごとに裁定することができ、裁判所がそうであるのと同様に本契約の条項に従わなくてはならない。仲裁手続きを開始するために、サービス利用者は、アマゾンの登録代理人である Corporation Service Company (300 Deschutes Way SW, Suite 304, Tumwater, WA 98501) 宛てに、仲裁を要請しサービス利用者のクレームを説明する書簡を送付しなければならない。仲裁は、米国仲裁協会 (AAA) によって、 <a href="http://www.adr.org">www.adr.org</a> 上で、または 1-800-778-7879 に電話することによって入手可能である AAA の規則に基づき行われる。	

チェック項目	項番	詳細チェック項目	記入要領	回答方法	Yes / No	記述回答	備考
契約条件	P	4 準拠法	係争時の準拠法は日本法か「Yes/No」欄のプルダウンメニューから選択してください。「No」の外国法を準拠法とする場合、国・州名を記述回答欄に記入してください。	Yes / No (記述あり)		「AWSカスタマーアグリーメント」をご参照ください。 <a href="http://aws.amazon.com/jp/agreement/">http://aws.amazon.com/jp/agreement/</a> 「紛争」に記載がございます。ただし、顧客依頼ベースで準拠法を日本法に、指定裁判所を東京地方裁判所に変更可能です。	

チェック項目	項番	詳細チェック項目	記入要領	回答方法	Yes / No	記述回答	備考
	Q 1	データの所有権 / 利用権	データ（会議情報、会議の録画データ等）の所有権または利用権がクラウド事業者側には生じないことが契約書や約款等に明記されているか「Yes/No」欄のプルダウンメニューから選択してください。「Yes」の場合、契約大学が文書を閲覧する方法（ウェブページに掲載、契約時に書面交付など）を記述回答欄に明記してください。	Yes / No （記述あり）		サービス利用者とアマゾンの間においては、サービス利用者またはそのライセンサーが、サービス利用者コンテンツに関するすべての権利、権原および利益を有します。 AWSカスタマーアグリーメント、「所有権等」、「サービス利用者コンテンツ」をご参照ください。 <a href="http://aws.amazon.com/jp/agreement/">http://aws.amazon.com/jp/agreement/</a>	
データの取り扱い	Q 3	契約終了後のユーザーデータ	ユーザの都合により契約を終了した後、ユーザ情報およびユーザが所有しているデータ（会議情報、会議の録画データ等）が再利用されないことが保証されているか「Yes/No」欄のプルダウンメニューから選択してください。「Yes」の場合、その方法を記述回答欄に明記してください（データをすべて削除するなど）。	Yes / No （記述あり）		サービス利用者とアマゾンの間においては、サービス利用者またはそのライセンサーが、サービス利用者コンテンツに関するすべての権利、権原および利益を有します。AWSカスタマーアグリーメント「所有権等」、「サービス利用者コンテンツ」をご参照ください。 <a href="http://aws.amazon.com/jp/agreement/">http://aws.amazon.com/jp/agreement/</a>  AWSは、お客様に対して、お客様のデータを削除する機能を提供しています。AWSのお客様は、お客様のデータの統制と所有権を有していますので、お客様の要件に応じてデータの保持を管理するのはお客様の責任です。 全データを特定の方法によってクリーンアップする必要がある手順を有する顧客は、Amazon EBS上でこれを行うことができます。この方法については、DoD 5220.22-Mまたは NIST 800-88に詳細が記載されています。顧客は、ボリュームを削除する前に専用のクリーンアップ手順を実行して、確立された要件を満たすようにします。 アマゾン ウェブ サービスは現在、Service Organization Controls 1 (SOC 1) Type II レポートを発行しています。SOC1レポートの監査は、AWSの統制目標が適切に設計されていること、およびカスタマーデータを保護するために定義された個々の統制が効果的に機能していることを証明するものです。 詳細についてはホワイトペーパーを参照してください。	ホワイトペーパーについては下記にリンクがございます。 <a href="https://d0.awsstatic.com/International/ja_JP/Whitepapers/AWS%20Security%20Whitepaper.pdf">https://d0.awsstatic.com/International/ja_JP/Whitepapers/AWS%20Security%20Whitepaper.pdf</a> <a href="https://aws.amazon.com/jp/security/security-resources/">https://aws.amazon.com/jp/security/security-resources/</a>



チェック項目	項番	詳細チェック項目	記入要領	回答方法	Yes / No	記述回答	備考
連携機能	OA 1	LTI対応	LTI(Learning Tools Interoperability)に対応しているか「Yes/No」欄のプルダウンメニューから選択してください。	Yes / No	-		
	OA 2	LMS連携	LMS(Learning Management System)等の他システムとの連携機能・実績があるか「Yes/No」欄のプルダウンメニューから選択してください。「Yes」の場合、LTI(Learning Tools Interoperability)を介する場合は明記してください。また、連携した実績のあるシステムを明記してください。	Yes / No (記述あり)		<p>Amazon Chime SDK を使用すると、Amazon Chime 会議を強化するのと同じインフラストラクチャを使用して、アプリケーションに音声通話、ビデオ通話、画面共有機能を追加できます。リアルタイムの通信インフラストラクチャサービスを管理せずに、操作を簡素化し、これらの機能を構築できます。Amazon Chime SDK は、アプリケーションのニーズに合わせて伸縮自在にスケーリングし、14 か所の AWS リージョンに会議セッションメディアを配置できるようにします。利用可能なリージョンは次のとおりです。米国 (バージニア北部、オハイオ、オレゴン、カリフォルニア北部)、カナダ (モントリオール)、ブラジル (サンパウロ)、アイルランド、ドイツ (フランクフルト)、英国 (ロンドン)、フランス (パリ)、スウェーデン (ストックホルム)、シンガポール、日本 (東京)、オーストラリア (シドニー)。</p> <p>Amazon Chime SDK は、前払いなしの従量制料金で提供されます。SDK を実装する開発者は、利用可能なメディアモダリティ (オーディオ、ビデオ、および画面共有) の一部またはすべてを単一レートで実装することを選択できます。</p> <p><a href="https://aws.amazon.com/jp/chime/pricing/">https://aws.amazon.com/jp/chime/pricing/</a></p>	
	OA 3	ライセンス連携	LMS(Learning Management System)等の他システムに複数の異なるライセンスの会議を連携させることは可能か「Yes/No」欄のプルダウンメニューから選択してください。	Yes / No	-		

チェック項目	項番	詳細チェック項目	記入要領	回答方法	Yes / No	記述回答	備考
オンライン会議	OB	1 参加可能人数	会議に参加可能な人数と同時開催可能な会議数を記述回答欄に明記してください。会議に参加可能な人数と同時開催可能な会議数が契約内容で異なる場合は、その情報も明記してください。	記述	-	Amazon Chime では、ビデオを使わないときは最大参加者数 250 人がオンライン会議に参加できます。ビデオ会議では、デスクトップで最大 16 人、モバイルで最大 8 人の参加者が動画を共有できます。	<a href="https://aws.amazon.com/jp/chime/faq/">https://aws.amazon.com/jp/chime/faq/</a>

チェック項目	項番	詳細チェック項目	記入要領	回答方法	Yes / No	記述回答	備考
オンライン会議	OB 2	通信利用帯域	会議実施時の通信利用帯域について明記してください。	記述	-	<p>Amazon Chime には提供するメディアのための以下の帯域幅要件があります。</p> <p>音声</p> <p>1:1 呼び出し: 54 kbps 上りおよび下り</p> <p>大規模な呼び出し: 50 の呼び出し元に対して 32 kbps を超えない</p> <p>動画</p> <p>1:1 呼び出し: 650 kbps 上りおよび下り</p> <p>HD モード :1400 kbps 上りおよび下り</p> <p>3-4 人: 450 kbps 上りおよび (N-1)*400 kbps 下り</p> <p>5-16 人: 184 kbps 上りおよび (N-1)*134 kbps 下り</p> <p>上下の帯域幅はネットワーク状況に応じて低くなります</p> <p>Screen</p> <p>1.2 mbps 上 (プレゼンテーション時) と下 (表示時) (高品質の場合)。これは、ネットワークの状態によって 320 kbps までに下がります。</p> <p>リモート制御: 800 kbps 固定</p> <p>Amazon Chime Voice Connector には以下の帯域幅要件があります。</p> <p>音声</p> <p>通話: ~90 kbps 上下これには、メディアペイロードおよびパケットオーバーヘッドが含まれます。</p> <p>T.38 FAX</p> <p>V.34 使用あり: ~40 kbpsこれには、メディアペイロードおよびパケットオーバーヘッドが含まれます。</p> <p>V.34 使用なし: ~20 kbpsこれには、メディアペイロードおよびパケットオーバーヘッドが含まれます。</p>	<p><a href="https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/chime/latest/ag/network-config.htm">https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/chime/latest/ag/network-config.htm</a></p>

チェック項目	項番	詳細チェック項目	記入要領	回答方法	Yes / No	記述回答	備考
オンライン会議	OB 3	録画機能	会議映像をサーバに録画できるか「Yes/No」欄のプルダウンメニューから選択してください。「Yes」の場合、録画できる最大量（標準画質で何分など）を明記してください。	Yes / No	(記述あり)	<p>会議の記録アクション 会議の主催者、代理人、またはモデレーターは以下の記録アクションを実行できます。</p> <p>[詳細] メニューを選択し、[Start Recording (記録の開始)] または [Stop Recording (記録の停止)] を選択して、会議の記録を開始または停止する。電話または室内ビデオシステムから *2 を押す。</p> <p>会議の参加者は、参加すると、会議が記録されていることが音声と視覚で通知されます。会議の記録が停止すると、会議が記録されなくなったことが通知されます。会議が終了すると、記録は自動的に停止します。</p> <p>記録を開始した会議の主催者、代理人、またはモデレーターは、Amazon Chime チャットメッセージで記録のファイルを受信します。モデレーターが電話または室内ビデオシステムから記録を開始した場合、または Amazon Chime アプリにサインインせずに会議に参加した場合、記録は会議の主催者にのみ送信されます。</p> <p>Amazon Chime は、音声のみを含む記録用の .m4a ファイルを送信します。記録中に画面共有がアクティブな場合、Amazon Chime は .mp4 ファイルを送信します。画面共有を含まない会議の部分は、再生中は空白になります。</p>	<p><a href="https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/chime/latest/ug/chime-organizer-call-controls.html">https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/chime/latest/ug/chime-organizer-call-controls.html</a></p> <p><a href="https://answers.chime.aws/articles/132/recording-a-chime-meeting.html">https://answers.chime.aws/articles/132/recording-a-chime-meeting.html</a></p> <p>Audio and any screen sharing during Amazon Chime meetings can be recorded. The maximum duration of a single meeting recording is 12 hours. [English]</p>

チェック項目	項番	詳細チェック項目	記入要領	回答方法	Yes / No	記述回答	備考
オンライン会議	OB 4	出席確認機能	<p>会議参加者の出席確認ができるか 「Yes/No」欄のプルダウンメニューから選択してください。 「Yes」の場合、その確認方法（事前登録による確認、ログによる事後確認等）を記述回答欄に明記してください。</p>	Yes / No (記述あり)		<p>Amazon Chime 会議の参加者一覧では、通話中のユーザー、遅れているユーザー、動画を使用しているユーザー、ミュート中のユーザーなどを確認できます。参加済みのユーザーは、参加者一覧に表示されます。招待済みのユーザーがまだ参加していない場合は、[Invited] (招待済み) セクションに表示されます。遅れているユーザーは [Running Late] (遅刻) に表示され、退席したユーザーは [Left] (退席済み) に表示されます。接続が切断されたユーザーが、[Dropped (切断)] セクションに表示されます。</p>	<p><a href="https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/chime/latest/ug/chime-roster.html">https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/chime/latest/ug/chime-roster.html</a></p>

チェック項目	項番	詳細チェック項目	記入要領	回答方法	Yes / No	記述回答	備考
オンライン会議	OB5	出席制限機能	会議参加者を招待者だけに制限できるか 「Yes/No」欄のプルダウンメニューから選択してください。 「Yes」の場合、その確認方法（パスワード認証、待合室等）を記述回答欄に明記してください。	Yes / No (記述あり)		<p>Amazon Chime 会議をスケジュールするときは、以下の会議タイプを使用できます。</p> <p>新しい ID を生成 - このオプションでは、主催する個人的または定期的な会議に使用できる新しい一意の会議 ID が生成されます。Amazon Chime アカウントに関連付けることができる一意の ID の数に制限はありません。一意の会議 ID を使用すると、会議または一連の会議への参加に固有の指示が会議の参加者に提供されます。これにより、立て続けの会議で所定時間内に終わらない会議がある場合に、会議がつながるのを防ぐことができます。このタイプの会議は、外部会議、内密会議、重複会議、立て続けの会議に最適です。</p> <p>新しい ID を生成してモデレーターによる開始を必須にする - このオプションでは、モデレート会議に新しい一意の会議 ID が生成され、会議 ID に 4 ~ 8 桁のモデレーターパスコードを割り当てるように求められます。モデレート会議は、モデレーターがモデレーターパスコードを入力して参加したときにのみ開始されます。モデレーターには主催者としてのコントロールも付与されます。会議に参加するときに Amazon Chime クライアントにサインインする会議の主催者および代理人は、デフォルトで会議のモデレーターとして認識されます。主催者と代理人は、電話や室内ビデオシステムを介して参加するときに、13 桁の会議 ID を入力してモデレーターとして参加できます。詳細については、「モデレート会議のスケジュール」を参照してください。</p> <p>個人用会議 ID - このオプションでは、Amazon Chime に登録したときに割り当てられた個人用会議 ID を使用して会議の指示が生成されます。内部会議にお勧めします。個人的または定期的な会議に使用できます。パーソナライズした会議リンクを設定している場合、この ID は会議の参加者に送信される会議の指示に含まれます。詳細については、「パーソナライズしたリンクの設定」を参照してください。このタイプの会議は、いずれかの参加者が出席するとすぐに開始されます。このタイプの会議は公開性が高いため、内密会議や立て続けの会議には使用しないでください。会議へのアクセスを制限するには、前述の会議タイプの 1 つを選択します。</p> <p>会社の参加者とサインインしている招待された参加者は、いつでも会議に参加できます。招待された参加者は、会議の出席依頼の E メールアドレスを使用して Amazon Chime にサインインする必要があります。また、会議には [meet@chime.aws] を招待する必要があります。詳細については、「自動コールの使用」を参照してください。</p> <p>他の外部参加者が会議に参加できるようにするかどうかも選択できます。次の参加者アクセスオプションを 1 つ以上選択します。</p> <p>サインインしている会社外部の参加者 - 外部出席者は、Amazon Chime にサインインしている場合に限り、会議に参加できます。</p> <p>会議 ID を持つすべてのユーザー - 会議 ID を持っている場合、誰でも会議に参加できます。このオプションでは、Amazon Chime アカウントを登録していない参加者が参加できます。</p> <p>室内ビデオシステム - 参加者が会議 ID を持っている場合、室内ビデオシステムは誰でも会議に参加できます。</p> <p>ダイヤルイン - 会議 ID があれば、誰でもダイヤルインして会議に参加できます。</p>	<p><a href="https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/chime/latest/ug/personal-ID.html">https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/chime/latest/ug/personal-ID.html</a></p> <p><a href="https://aws.amazon.com/jp/about-aws/whats-new/2020/05/amazon-chime-adds-new-policies-to-govern-meeting-access/">https://aws.amazon.com/jp/about-aws/whats-new/2020/05/amazon-chime-adds-new-policies-to-govern-meeting-access/</a></p>